

第2章 人口動態統計

人口

管内の人口は133,813人で、平成22年と比べ815人減少した。自然増加数は▲672人であり、過去10年減少が続いている。

出生

出生数は、1,008人で平成22年と比べ58人減少した。管内の出生率(人口千対)は7.5で、全国(8.3)、県(8.3)と比較し低い。

低体重児出生数(2,500g未満)は91人、出生率(出生百対)は9.0で、全国(9.6)及び県(9.7)と比較しやや低い。

死亡

死亡数は、1,680人で平成22年と比べ87人増加した。管内の死亡率(人口千対)は12.6となっており、全国(9.9)、県(10.3)と比較し高い。

死因別順位では、第1位が悪性新生物(人口10万対死亡率332.6)で第2位が心疾患(221.2)、第3位が老衰(130.8)となっており、老衰は、県順位が肺炎に次いで第5位であり、特に高い。

乳児死亡

乳児死亡数は2人、乳児死亡率(人口千対)は2.0であった。全国(2.3)、県(2.9)と比較してやや低い。

死産

死産数は19人、死産率(出産千対)は18.5であった。全国(23.9)、県(19.6)と比較して低い。特に人工死産率(出産千対)が、管内は8.8と、全国(12.8)、県(10.9)と比較して低い。

婚姻

婚姻件数は560組で婚姻率(人口千対)は4.2であった。婚姻率は、全国(5.2)、県(4.7)と比較しやや低い。

離婚

離婚件数は181組で離婚率(人口千対)は1.35であった。離婚率は、全国(1.87)、県(1.66)と比較し低い。